
〇〇地区防災WS企画ノート（例）

〇〇地区防災WSの概要	-----
ワークショップ進行シナリオ（例）	-----
ロールプレイ（寸劇）シナリオ（例）	-----
当日の運営記録	-----
使用機材リスト	-----
会場レイアウト（例）	-----
当日の反省（例）	-----

平成□□年△月◎日（■） : ~ :

〇〇地区公民館

〇〇地区防災WSの概要

●日 時 平成〇〇年△月◎日(■) : ~ :

●場 所 〇〇地区公民館

●参加予定者 約 名

●テーマ(例示) テーマⅠ:「情報伝達・広報のあり方」

- ・ 一人暮らし高齢者への情報提供手段の確保
- ・ 聴覚障害者への情報手段の確保など

テーマⅡ:「避難行動の実施方法」

- ・ 避難経路の危険箇所の特定制(用水路など)
- ・ 避難所まで距離がある場合の避難手段

●ワークショップの到達点(例示)

- ・ 要援護者に対する「情報伝達や広報のあり方」、「避難行動の実施方法」について、地区住民の立場から意見を出し合う。
- ・ 何が問題か、どうするべきかについて住民自らが考え、気づいてもらう。
- ・ 住民の意見の中から、行政が参考とすべき意見が出てくることを期待する。

●全体の流れ（ポイント・留意点）

	進行概要	留意点・対応等
準備	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 受付 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 受付時にグループ分けを実施 ✓ 受付時にくじ引きを行う
イントロ (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 主催者挨拶 3分 ➤ 地元代表者の挨拶 3分 ➤ 趣旨説明 7分 ➤ ワークショップの進め方 7分 ➤ ロールプレイ（寸劇） 10分 ➤ アイスブレイク（打ち解け合いましょう） 10分 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 開会宣言程度とする ➤ アイスブレイクの時間管理は「時計まわし」
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ STEP1：きちんと情報を伝えるにはどうすればよいと思いますか？ 5分 ➤ STEP2：模造紙にポストイット（付箋紙）を貼り出しながら整理します 15分 ➤ STEP3：要援護者を安全に避難させる最適ルートを考えます 5分 ➤ STEP4：避難ルート上に問題点はありませんか？ 5分 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ポストイット（付箋紙）に書き出してもらう（参加者） ➤ ポストイットを自助、共助、公助に分類整理する（コファシ） ➤ 参加者と意見交換しながら図上にルートを書き出す（コファシ） ➤ ポストイットに書き出してもらう（参加者）
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ STEP5：安全に避難させるにはどうすればよいと思いますか？ 20分 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 避難ルート上の問題箇所を書き出す（コファシ） ➤ 避難のさせ方について、ポストイットに書き出してもらう（参加者） ➤ ポストイットを整理分類する（コファシ） ➤ 発表者を決める（全員）
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ STEP6：発表（3分×6Gr.≒20分） 	
ワーク (70分)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 質疑応答 ➤ 意見交換 ➤ 振り返りシート記入依頼 ➤ 閉会挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 入善町及び主催者
クロース (10分)		
グループレイアウト	<p>※基本的に、下記のレイアウトで実施します。</p>	

●役割分担（案）

表-1 担当グループ	コファシリテーター	ロジスティックス	
A Gr.	○○	■ ■	△△
B Gr.	□□	・	・
C Gr.	・	・	・
D Gr.	・	・	・
E Gr.	・	・	・
F Gr.	・	・	・

※ 会場記録は全員で分担して行う。

表-2 専門分野	A 町	B 河川 事務所	・・・	・・・	・・・
地域に詳しい	◎		○		
河川・防災		◎	◎	◎	◎
要援護者検討	○	◎		○	◎

※ 上記の専門分野を考慮してコファシリテーターとロジスティックスをバランスよく配置する。

●前提条件

■ 今回のシミュレーションの条件は、①破堤地点を●●とし、②想定降雨量を●●になります（▲年に一度の洪水）。

■ 災害時要援護者とは、

- ①自分の身に危険が差し迫った場合、それを察知する能力が無い、又は困難
- ②自分の身に危険が差し迫った場合、それを察知しても適切な行動をとることができない、又は困難
- ③危険を知らせる情報を受取ることができない、又は困難
- ④危険を知らせる情報を受取っても、それに対して適切な行動をとることができない、又は困難

な方を指しています。今回のWSでは、高齢者と聴覚障害者を例にしましたが、この他に、

- ①乳幼児
- ②心身障害者
- ③疾病者
- ④外国人
- ⑤妊婦 等々

が考えられます。

ワークショップ進行シナリオ（例）

18:15 ○○地区公民館集合（服装は軽装とします）

18:20 事前ミーティング

- ・ WSの到達点の確認
- ・ 役割分担の確認
- ・ 注意事項等
- ・ 進行シナリオの確認（リハーサル）

19:15 開場

- ・ 受付名簿記載
- ・ 受付時に着席箇所をくじ引き

19:30 議事1：オリエンテーション（40分）

今日の進め方（20分）

- ・ 開会挨拶
- ・ 地元代表者の挨拶
- ・ 趣旨説明
- ・ WSの進め方（質疑応答含む）※ファシリテーター：総合司会

ロールプレイ（寸劇）（10分）

- ・ 役場検討委員メンバー7名によるロールプレイ
 - 独居高齢者に「避難勧告」の意味が伝わらないことを想定

アイスブレイク（打ち解け合いましょう）（10分）

- ・ 読話による伝言ゲーム（「おおあめ」「あぶない」）
- ・ 時間管理は時計まわし
 - 秒針つきの時計をもって30秒計る
 - デモンストレーションを役場メンバー4名で実演

20:00 議事2：アイデア出しワーク（70分）

- ・ 全体の進行管理はファシリテーター（総合司会）が行います。
- ・ コファシリテーター（グループ司会）は、フリップを用いてグループの進行管理を行います。
- ・ ロジスティックス（補助員）は、1名が各テーブルの全体記録、もう1名（+コファシリテーター）は書き出されたポストイット（付箋紙）を発言者に確認しながらの加筆修正や、場が止まったときの促し役を担います。

テーマⅠ：「情報伝達・広報のあり方」

- ・ ファシリテーターより、先ず始めに、高齢者や聴覚障害者にきちんと情報を伝えることの難しさを参加者に問いかけます。

STEP1（5分）：きちんと情報を伝えるにはどうすればよいと思いますか？

- ・ ファシリテーターがパワーポイント資料を指差し、上記について参加者に問いかけます。
- ・ コファシリテーターは、フリップを見せながら、参加者に1枚のポストイットに1つの意見を原則に、書き出すよう促します。
- ・ この5分間は、原則生産的沈黙の時間に充てます。
- ・ 高齢者や障害者別に分けて考えるとどうですか？非常時や日頃の備えに分けて考えるとどうですか？という具合に意見の書き出しを促します。
- ・ 時間の進行管理はファシリテーターが行います（1分前と終了時にアナウンスします）。

STEP2（15分）：模造紙にポストイットを貼り出しながら整理します

- ・ ファシリテーターがパワーポイントを指差し、上記について参加者に問いかけます。
- ・ コファシリテーターは、フリップを見せながら、適当な参加者を指名し、1枚のポストイット出させます。
- ・ 自助・共助・公助の軸、障害者・高齢者の軸を基本に（意見の内容によって臨機応変に対応してください）、ポストイットを分類します。
- ・ 類似の意見がないか確認します。
- ・ 関連して、新しい意見はないか確認します。
- ・ あれば、関連意見を、なければ次の参加者に、1枚のポストイットを出させます。
- ・ 以降、同じ作業を繰り返します。
- ・ この15分間は、活発な議論の時間に充てます。
- ・ 時間の進行管理はファシリテーターが行います（1分前と終了時にアナウンスします）。

テーマⅡ：「避難行動の実施方法」

STEP3（5分）：要援護者を安全に避難させる最適ルートを考えます

- ・ ファシリテーターがパワーポイントを指差し、上記について参加者に問いかけます。
- ・ コファシリテーターは、フリップを見せながら、適当な参加者

を指名し、要援護者を安全に避難させる最適ルートを問いかけます。

- ・ 他のルートはないか発言を促します。
- ・ この5分間は、活発な議論の時間に充てます。
- ・ 避難ルート上の問題点についての意見が出た場合、次のステップで確認する旨を伝え、ポストイットに書き留めておくよう指示します。
- ・ 時間の進行管理はファシリテーターが行います（1分前と終了時にアナウンスします）。

STEP4（5分）：避難ルート上に問題点はありませんか？

- ・ ファシリテーターがパワーポイントを指差し、上記について参加者に問いかけます。
- ・ コファシリテーターは、フリップを見せながら、参加者に1枚のポストイットに1つの意見を原則に、書き出すよう促します。
- ・ この5分間は、原則生産的沈黙の時間に充てます。
- ・ 物理的な問題点（用水の増水や外灯の有無）の他、移動手段における問題点（徒歩では遠い、車では道が狭い等々）等を示唆しながら意見の書き出しを促します。
- ・ 時間の進行管理はファシリテーターが行います（1分前と終了時にアナウンスします）。

STEP5（20分）：安全に避難させるにはどうすればよいと思いますか？

- ・ ファシリテーターがパワーポイントを指差し、上記について参加者に問いかけます。
- ・ コファシリテーターは、フリップを見せながら、「先ず始めに、問題箇所を整理しましょう」と問いかけます。
- ・ 図面にポストイットを貼り付けながら、避難ルート上の問題点を明示します。マジック等をつかって見やすく工夫して下さい。
- ・ 問題解決に向けた意見をポストイットに書き出してもらいながら議論します。
- ・ 問題点の除去、軽減、移転、回避等々を示唆しながら意見の書き出しを促します。
- ・ この20分間は、活発な議論の時間に充てます。
- ・ 意見を書き出しながらの議論のため、参加者の手が止まりがちになります。ロジスティックスは参加者の代わりに意見を書きとめてください。
- ・ コファシリテーターは、ポストイットを確認しながら意見を整理分類してください。

-
- ・ 時間の進行管理はファシリテーターが行います（1分前と終了時にアナウンスします）。
 - ・ 1分前のアナウンス時に、コファシリテーターは、グループリーダーを見出し、発表者になるよう促します。

STEP6（20分）：発表

- ・ 各グループ3分で発表します。

21:20 議事3：今日のまとめ（10分）

- ・ 発表内容についての質疑応答
- ・ 意見交換
- ・ 振り返りシートへの記入依頼
- ・ 事務連絡等（閉会挨拶を兼ねる）

21:30 閉会

- ・ 会場撤収

22:00 解散

ロールプレイ（寸劇）シナリオ（例）

設定・準備

- ・ 設定
 - 主役をおじいさんAとし、「避難勧告」の意味が伝わらず逃げ遅れてしまう
- ・ ナレーターはファシリテーターが務める
- ・ 出演者は役場検討委員メンバー7人
 - おじいさんA
 - おじいさんB
 - 近所のおばあさん
 - 魚屋のおじさん
 - 大工さん
 - 役場の人
 - 男の子
- ・ 小道具
 - 役割ごとのお面
 - 湯のみ・座布団等、会場にあるもの
- ・ 演出
 - 極力地の言葉でお願いします

シナリオ

ナレーター：5年前に奥さんを亡くされたくろべえさん（83歳）が夕食を一人でとっています。くろべえさんには、子供が2人いますが、2人とも都会で生活しているため、今は一人で暮らしています。

奥さんを亡くされてから生活のはりがなくなったのでしょうか？体の衰えが目立ち始め、あまり外に出なくなりました。また、新しいことに興味を持ったり覚えるのが少々億劫になっているようです。

このくろべえさんの日常生活ですが、ボケの問題はなく、隣近所とのコミュニケーションはできます。目も耳も大丈夫目も耳もしっかりしています。食事や排泄も自分でできます。自力

歩行はできていますが、見守りがあったほうが安心です。入浴は、古いタイプのお風呂のためか苦勞しています。子供たちは入浴時だけでも介護者をお願いしたいのですが、くろべえさんは他者の介護を嫌がっています。

おじいさんA：(お茶をすすりながら) しかし、よく雨が降るな。おっと、こんな時間か、どれ、テレビでも見よう。

役場の人：(実際に行われている防災無線風にして臨場感を出す) ウウウウー (サイレンの音)、ピンポンパンポーン、皆さまにお知らせします。ただ今、〇〇地区に避難勧告が出されました。〇〇地区の住民の皆様は、速やかに〇〇保育所まで避難してください。繰り返します、ただ今・・・

おじいさんA：ん？、なんだ、なんだ？何か周りが騒がしいようだが、よおわからんのお〜。まあ、対した話しじゃないだろう。
※おじいさんAの家の前をおじいさんBが通りかかる

おじいさんB：くろべえさん、ちゃんと避難したかな？どれ、一応、寄ってみるか。
うん？雨戸も閉まってることだし、電気も消えているようだ。きっと避難したんだろう。
ぐずぐずしてられないので、行くとするか。
※おじいさんBはそのまま通り過ぎる。

おじいさんA：少し雨が気になるな。どれ外でも見てみるか。(ガラガラガラ／雨戸を開ける音)。
しかし、ひどい雨だなあ〜。黒部川が氾濫したときもこんな雨だったなあ〜。早くやむといいのだが。(ガラガラガラ／雨戸を閉める音)

男の子：あれ、くろべえのじいちゃんだ。雨戸閉めているけど、これから〇〇保育所に行くのかなあ？まあ、いっか。

ナレーター：避難勧告が出されてから数時間ほど過ぎた避難場所で・・・
※ここから、避難場所で車座になって話している雰囲気を出します。

近所のおばあさん：あれ、くろべえさんがいないけど、大丈夫か？

おじいさんB：わしがくろべえさんの家の前を通ったときは、戸締りもしてあって、電気も消えて、人がなかったが。

魚屋のおじいさん：そういえば、くろべえさん見てないなあー

大工さん：まさか、この雨の中どっかにでかけているのか？

男の子：(遠慮がちに) くろべえのじいちゃんだったら、僕が家の前を通ったとき、雨戸を閉めていたよ。

魚屋のおじいさん：じゃあ、ここに向かっているのか？

おじいさんB：しかし、わしが家の前を通ったときは、人はなかったがなあ。

男の子：でも、僕が見たのは30分位前の話だよ。

おじいさんB：わしがここにきたのは1時間以上前か・・・

大工さん：おい、役場の人間はいないか？

※車座の後ろを役場の人がおとりかかり、

役場の人：どうしましたか？

魚屋のおじさん：くろべえのじいさんが避難していないようだ。

役場の人：え？本当ですか、確認してみます。

※少し間をおいて

役場の人：やはり、避難されていないようです。

大工さん：じゃ、助けに行かないと。

役場の人：危険です。やめてください。

魚屋のおじさん：なんと、じゃ、どうすればいいんだ！

※スクッと立ち上がる

役場の人：落ち着いてください、これから、消防と警察に連絡を入れます。

※携帯電話を取り出し、何度か掛け直す。

ナレーター：どうも、電話がつながりにくくなっているようですね。

災害時は、なかなか他人のことまで気が回らなかったり、様々なトラブルや混乱がつきものです。

この寸劇を見て感じたことを後で皆さんと話し合いますので、胸に留めておいて下さい。

当日の運営記録

写真撮影 (WS スナップ写真)

ビデオ撮影

使用機材リスト

【受付】

受付名簿

【配布資料】

配布資料 (レジメ) ×80

振り返りシート×80

【掲示用資料】

ハザードマップ×6

要援護者マップ×1

【会場設営】

ホワイトボード ※会場備品

音響設備 ※会場備品

ローテーブル ※会場備品

座布団 ※会場備品

スクリーン×1

プロジェクター×1

湯のみ、ポット

お茶・お茶菓子

パソコン×1

IC レコーダー

アンプつきスピーカー×1 (BGM 用)

【ワークショップグッズ】

ビデオ×2

首掛け名札×80

デジカメ×2

・ネームプレート「事務局 (色)」×15

携帯プリンター×1

・ネームプレート (白) ×65

番号札 (座席指定)

コピー用紙 (A4 白) ×500

ポストイット、プロッキー×7セット

サインペン×80

ライブ録音用模造紙

ゴミ袋

ガムテープ

宅急便送り状

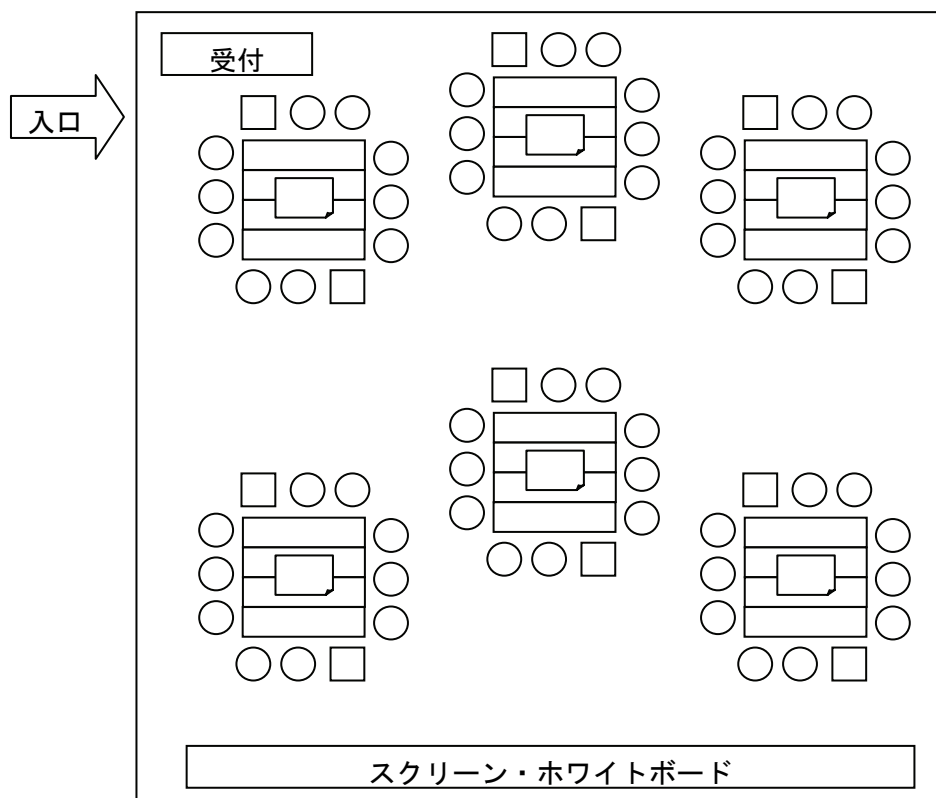
延長コード

カッター、はさみ等の文房具

会場レイアウト（例）

・座布団形式、椅子形式どちらでも構いません。

・準備しやすい方をお願いします



当日の反省（例）（運営者の振り返り）

項目	課題	対応
ロールプレイ （寸劇）	結果として、お年よりはあらゆる属性（ハンデ）を背負うため、参加者に明確に伝わりにくい。	今後の改善策として、お年寄りのロールプレイは、自力で動けないという点に絞ったほうが伝わりやすい。
アイスブレイク （打ち解け合い）	特に準備を要しない読話による伝言ゲームは、アイスブレイクとしては有効	高齢者、視覚障害者、聴覚障害者疑似体験キットを用いるとよりリアルな体験が可能になる。
アイデア出し	アイスブレイクとのつながりになるが、どう思ったか？→どうすべきか？の流れは運営しやすい。	芦崎・報徳地区での反省を踏まえ、小摺戸地区ではフリップを使って、ステップ数を細かく区切ったが、議論の盛り上がりや抑えて懸念がある。ケースバイケースで、ステップ数を細かく区切ったり、まとめたりする必要がある。
発表	時間管理ができず、時間オーバーに不満を持つ参加者がいた。	ルールはルールとして時間厳守で望む。
まとめ	次回への促しができなかった。	防災 WS の原点は、防災行動への気付きを与える場であることから、次にどうつなげていくか、参加者とディスカッションすると尚良い。